

添付資料5-2

直鎖アルキルベンゼンスルホン酸ナトリウム、アルキルグリコシド、ポリオキシエチレンアルキルエーテル、アルキルアミノオキシド、脂肪酸カリウムの界面活性剤5種
次亜塩素酸水（電気分解法で生成したもの）4種

（その他）

○新型コロナウイルスにおける今後の検証試験結果を待っての議論となるが、仮に有効性が確認できた物資においても、実際に代替消毒手法として活用するに当たっては安全性や適正な使用法への配慮について、十分に留意する必要がある。

<新型コロナウイルスによる検証試験の計画>

○新型コロナウイルスを用いた検証試験を実施する。国立感染症研究所及び北里大学大村智記念研究所の協力を得て、両機関がそれぞれ保有する評価系を用い、並行して検証試験を実施することとする。

○検証試験に供するサンプルとして、インフルエンザウイルスを用いた試験に供した界面活性剤8種（第4級アンモニウム塩1種を含む）、及び次亜塩素酸水（電気分解で生成したもの）4種に加えて、文献調査の結果等を踏まえて、界面活性剤1種、第4級アンモニウム塩2種、及び過炭酸ナトリウムの計4種を追加する。

なお、次亜塩素酸水について、現在の4サンプルによる試験成果の適用範囲などを考慮しつつ、追加的な検証試験実施の必要性を事務局で検討し、必要に応じて委員会に諮ることとする。

（注1）本委員会で進める有効性評価は新型コロナ対応に係る国民向け広報等での活用を目的としたものであり、「医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律」（薬機法）、「食品衛生法」、その他の関連する法令等における評価を意味するものではない。

（注2）本委員会は、迅速に検討を進める必要があるため、委員会開催時において収集利用が可能である情報等をもとに検討を行う。このため、事後的に重要な追加情報等が得られた場合には、それまでの委員会の判断を変更することもあり得る。